



各地域の紹介

千葉地域

船橋地域

習志野地域

八千代地域

市原地域

市川地域

かずさ地域（袖ヶ浦市・木更津市、君津市、富津市）

安房地域（館山市・鴨川市・南房総市、鋸南町）

九十九地域（東金市・山武市、大網白里市・芝山町・横芝光町）

東葛地域（野田市・流山市・松戸市）

柏地域

葛南地域（我孫子市・浦安市・鎌ヶ谷市）

東総地域（匝瑳市・旭市・銚子市）

北総地域（佐倉市・成田市・香取郡市・水郷軟式）

印旛地域（白井市・印西市・四街道市・酒々井町・富里市・八街市・栄町）

千葉地域

千葉地域は、中央区連盟、美浜区連盟、花見川連盟、稲毛区連盟、若葉区連盟、緑区連盟の6連盟を総括する団体として千葉市少年軟式野球協会を立ち上げ現在は少子化によりⅠ部チーム54クラブ(794名)、Ⅱ部チーム49チーム(749名)と現在(1543名)に至っています。

少子化の時代に入っており今後はクラブをいかに存続するのかを考えないといけない時代に入ってきていると思われます。

平成 23 年協会 35 周年記念誌発行

平成 27 年沖縄かりゆし杯参加初優勝

平成 28 年沖縄かりゆし杯2連覇

平成 28 年協会創立 40 周年記念

年間活動計画

千葉市少年軟式野球協会公式大会

- 春季中央大会
- 秋季中央大会
- 千葉市低学年大会
- 千葉市長杯学童野球選手権大会
- 千葉マリーンズ杯争奪選手権大会
- 区対抗5年生選抜大会

少年野球教室

- 千葉市ホームタウン野球教室(ロッテマリーンズ現役選手)
- 日本ハム(日本ハムファイターズOB選手)
- 千葉県野球連盟(千葉県野球連盟JFE東日本選手)指導者講習会
- 千葉県野球連盟野球教室

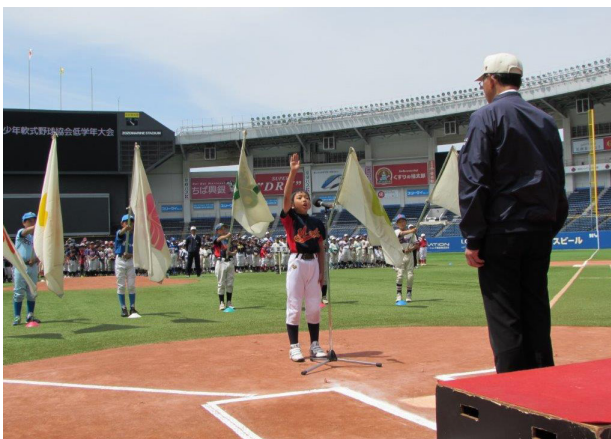
審判講習会

- 千葉県高等学校野球連盟
- 千葉県野球連盟(千葉県野球連盟審判講習会)千葉市選抜チーム選考会
- 千葉ドリームス
- 千葉レインボーズ
- 千葉ドリームガールズ

6区連盟行事

- 6区連盟は協会公式大会と見合わせながらの春季大会、夏季大会、秋季大会、連盟会長杯大会審判講習会等の行事を行っている

以上のような諸行事を協会役員一同が見守る中粛々と進めていましたが、昨年、本年と新型コロナウィルス感染症により「緊急事態宣言」等が出され、計画していた各種大会の中止延期がありました。6年生にとりましては最高学年最後の年であり残念なことでありました。



千葉市低学年大会開会式



千葉市長杯開会式

船橋地域

船橋市野球協会少年学童部

この10年間のあゆみ

昭和51年に発足し子供達の健全な心身の育成を図ることを目標に活動し45年目を迎え、現在37チームが加盟しています。

千葉県少年野球連盟の大会にも、市内の大会を勝ち抜いたチームが参加し優秀な成績を取めました。

千葉県少年野球大会優勝

平成25年度 習志野台ワンパクス
平成26年度 夏見台アタックス
平成28年度 FTJ
平成30年度 夏見台アタックス
令和元年度 夏見台アタックス

少年野球千葉県選手権大会優勝

平成26年度 薬円台リトルスター
平成30年度 夏見台アタックス

全日本学童軟式野球大会千葉県大会優勝

平成26年度 習志野台ワンパクス
平成27年度 習志野サンデーズ

関東学童軟式野球秋季千葉県大会優勝

平成25年度 西船ウイングス
平成30年度 夏見台アタックス

千葉県少年野球低学年大会優勝

平成23年度 習志野台ワンパクス
平成24年度 ホワイトビーストロング
平成25年度 FTJ
平成27年度 船橋三山スワローズ
平成28年度 西海ドラゴンズ
平成30年度 習志野台ワンパクス
令和元年度 習志野台ワンパクス

千葉県少年野球地域対抗選抜大会優勝

平成26年度 船橋地域



年間の活動

- 船橋市春季市民大会野球大会少年学童の部
- 船橋市少年学童野球選手権大会
- 船橋市秋季市民大会野球大会少年学童の部
- 船橋市少年学童野球新人大会
- 船橋市少年学童野球低学年大会
- 友遊ボール船橋大会
- 野球教室（N T T東日本、東京中日スポーツ）
- 審判講習会



特色ある活動

船橋市野球協会少年学童部では本部が運営する大会だけでなく、第一支部と第二支部に分けて大会を行い技術の向上と選手相互の親睦に努めています。

更に指導者の資質向上が重要であると認識し、指導者講習会や外部指導者による各種教室を積極的に開催しています。

市内の青少年団体で構成する船橋市少年少女団体連絡協議会に所属し、各団体との親睦を図る「少年少女交歓大会」や「北海道津別町青少年交流事業」などの野球以外の活動にも積極的に参加しています。

習志野地域

この 10 年間のあゆみ

習志野市少年野球連盟は昭和 45 年に創立し今年 52 年目を迎える事が出来ました。

この 10 年間に於きましても、新人・春季・夏季・小学校区対抗・低学年・日ハム予選・友遊ボール予選・習八・習八ジュニア、の 9 大会を順調に行っております。

大会使用球場も、第一カッター球場（秋津野球場）をメイン球場として、市営の公園球場等を使用して大会を開催致しております。

登録チームも最盛期には 70 以上のチームが有りましたが、少子化、又、子供達の野球離れ等が有り（全ての地域同じですが）現在 A、B チームわせても 26 チームの登録に減少致しております。しかしながらこの 10 年間各チームの努力にて、チーム数、選手数は横這い状態で推移しておりますが、何とか選手の数を増やして 1 チームでも多くするべく頑張っております。

令和元年(2019 年)に会長が 13 年間勤めて来ましたが、3 代目会長鈴木喜代秋、が辞任し 4 代目会長中川内由則、が受け継ぎ就任致しました。連盟役員、運営委員合わせて総数 47 名、これからも各チームと力を合わせて一丸となり、連盟の発展と、子供達の健全育成の為努力、頑張っていく所存ですので、千葉県少年野球連盟の御指導の程宜しくお願い申し上げます。

年間の活動

- 少年野球新人大会
- 少年野球春季大会
- 少年野球夏季大会
- 少年野球小学校対抗大会
- 少年野球ジュニア大会
- 少年野球関東学童市内予選
- 少年野球友遊ボール市内予選
- 習志野市・八千代市少年野球大会
- 習志野市・八千代市少年野球ジュニア大会

特色ある活動

特色ある活動として、今年第 41 回大会の習八大会、第 27 回大会の習八ジュニア大会、そして、第 36 回を迎える習志野市小学校区対抗少年野球大会があります。

習八大会及び習八ジュニア大会は両大会共隣接する八千代市少年野球連盟と当連盟の代表ベスト 8 のチームで覇を競う大会として長く続けており、両連盟の親睦を深めております。

習志野市小学校区対抗少年野球大会（別名、モリシア杯）は、地元企業モリシア津田沼店様の後援で市内 16 小学校に在学する選手にてチーム編成して、各小学校の名誉を掛けて覇を競う大会で現在は 10 月下旬に開催し、開会式には各小学校の校長先生、或いは教頭先生が参列して選手達に応援、激励の声を掛けて戴き大会を盛り上げ、長く続けて開催してる大会です。

新型コロナウイルス感染症対策

市教育委員会との話し合いを行い感染防止対策が万全である事を条件に、大会開催の許可を戴き、5 月の春季大会以降の大会を全て開催する事が出来ました。

①開会式は中止、②ベンチを通常のベンチ前、グラウンド中に大きくスペースを取りベンチ内の密を避ける、③3 回終了後に 5 分間の休憩を入れる、④ベンチ内の指導者、控え選手はマスクを着用、⑤円陣を組んでの注意、エール交換の禁止、⑥試合開始、終了後は審判と主将のみが本塁に整列し、他はベンチ前横一列に大きく間隔を開け整列し審判の発声で脱帽、一例する、⑦審判の給水は各自持参し給水する事、⑧応援観戦は父兄兄弟のみとし他者は許可しない、⑨参加者全員チェックシートに体温の記入をして本部に提出を義務づける。

八千代地域

八千代市少年野球連盟

この 10 年間のあゆみ

昭和 49 年に設立された八千代市少年野球連盟は今年度設立 47 周年を迎えます。この 10 年は少年野球人口の減少が厳しくなる中、「少年少女の健全な育成」に加えて「地域社会との共生」に寄与するよう規約改正を行い、地域の皆様に親しまれる連盟を目指してきました。

平成 25 年度小阪会長、平成 29 年度平会長へと引き継がれた当連盟は、今年度から熊崎新会長をお迎えし、4 支部 16 クラブの体制で子供たちの成長を更に後押ししてまいります。

八千代市少年野球連盟のこの 10 年における主な活躍は以下の通りです。

全日本学童軟式野球大会

平成 29 年度 優 勝 エースライオンズ

千葉県少年野球大会（千葉日報旗）

平成 24 年度 第三位 北東タイガース

平成 26 年度 第三位 新木戸ヤングミヤコシ

少年野球千葉県選手県大会（ろうきん旗）

平成 23 年度 第三位 大和田タイガース

平成 28 年度 第三位 村上ファイターズ

平成 29 年度 第三位 エースライオンズ

千葉県少年野球低学年大会（ロッテ旗）

平成 24 年度 第三位 キングファイターズ
第三位 新木戸ヤングミヤコシ

平成 26 年度 第三位 村上ファイターズ

平成 28 年度 第三位 大新ジャガーズ

千葉県少年野球地域対抗 6 年生選抜大会

平成 26 年度 第三位 八千代地域選抜

平成 27 年度 優 勝 八千代地域選抜

平成 28 年度 第三位 八千代地域選抜

平成 29 年度 第三位 八千代地域選抜

千葉県少年野球女子大会（JA 共済連千葉旗）

平成 30 年度 第三位 習八 TOMBOY

令和元年度 準優勝 習八 TOMBOY

令和 3 年度 準優勝 習八 TOMBOY

千葉県少年野球秋季女子大会（ナガセ・トップ杯）

平成 30 年度 準優勝 習八 TOMBOY

年間の活動

八千代市少年野球連盟公式大会

- 春季市民大会（1 部、2 部）
- ポスト杯大会（2 部）
- 市長杯夏季大会
- 日本ハム旗代表決定戦
- 友遊ボール代表決定戦
- ろうきん旗代表決定戦
- 秋季市民大会（1 部、2 部）
- 八千代市・鉧路市少年少女スポーツ交歓大会
- 八千代市・習志野市大会（1 部）
- 八千代市・習志野市ジュニア大会（2 部）
- 支部対抗 6 年生選抜大会

公式大会以外の大会

- 各地区大会（高津、中央、東部）
- 八千代シニア杯大会

特色ある活動

地域の皆様に親しまれ、地域社会との共生を図るため、市主催の行事に積極的に参加しています。毎年こどもの日には、八千代市の中央を流れる新川に鯉のぼりを掲揚しています。

また、地域のために活動する団体として、市民活動団体支援金交付制度に登録し、毎年市民の皆様から多大なご支援をいただいています。

八千代市の姉妹都市である鉧路市と隔年交互にスポーツ交歓大会を開催、隣接する習志野市と毎年交流大会を開催するなど、地域間の交流も積極的に行っています。

市原地域

市原市少年野球協会

この 10 年のあゆみ

1975 年に発足した市原市少年野球協会は、臨海工業部の発展と共に野球人口を増やしてきました。21 世紀に入ると少子化問題が顕在化。現在では、16 のチームで構成されています。この 10 年、友遊ボールの市内大会開催や部員不足で悩むチーム同士の合併支援、市報での野球啓蒙、市原市体育協会への加盟による活動の拡大など考え得る限りの手を打って参りました。結果、ここ数年では、部員数の減少に歯止めがかかり来年は増加に転じるのではないかと期待しています。一方、協会役員、審判部の高齢化は否めず、この世代交代が課題となっています。

時代に合わせ新しいものを取り入れながら、古き良きものはしっかり継承することで、今後も県連及び市内の野球発展に寄与して参ります。



コスモス国際親善少年野球大会 in 市原

年間の活動

- ・市内大会（春、夏、秋、いずれも 1 部、3 部）
- ・コスモス国際親善少年野球大会 in 市原
- ・友遊ボール
- ・キッズフェスタ in 市原
- ・ドリーム事業（市原選抜海外遠征など）
- ・新人戦
- ・野球教室、メディカルチェック

特色ある活動

①コスモス国際親善少年野球大会 in 市原

行政や民間企業、他体育・文化団体のご協力の下、県内外及び海外チームも参加する国際親善大会を開催しています。前夜祭では豪快な花火も打ち上げられ大会に華を添えています。



新竹市役所表敬訪問

②ドリーム事業

市原市選抜関連事業をドリーム事業と銘打ち台湾遠征や東北遠征を通じて情操教育を実施しています。また、相互訪問形式によるホームステイを通じ交流を深めています。若年期に海外を経験させることには、国際的な人材に成長して欲しいという願いや自分で考え自分で行動するという訓練も兼ねています。



市原市・新竹市少年野球選抜チーム

コスモス大会もドリーム事業もコロナ感染症拡大の影響を受け、今年は大きく制限された活動となってしまいました。当面は With コロナの生活が続く見込みですが、防止と活動のバランスを取りながら行事を盛り上げて参ります。

市川地域

市川市少年野球連盟は 1980 年に設立されました。2019 年に 40 周年を迎え、1 年間を通じて設立記念大会を無事終えることができました。

この 10 年のあゆみ

少子化並びに地域によっては人口減少が要因で、チーム数が徐々に減っています。この 10 年で 57 から 41 となってしまいました。

現在約 1,000 人の選手が活動しております。(女子選手はわずかながら増加の傾向にあります)

一方、グラウンド面でも変化がありました。

- ・ 2012 年 妙典球場が新整備され、大野高等学園（旧 県立市川東高校）グラウンドの使用が開始
- ・ 2013 年 国府台球場に電光掲示板設置
- ・ 2014 年 国分グラウンド新整備



J:COM 旗 開会式の模様

年間の活動

連盟主催の主な大会は

- ①春季大会（高学年）、友遊ボール市内大会
- ②夏季大会（高学年）、夏季大会（低学年）
- ③小笠原杯 などです。

その他

東北大震災で被災した浦安市との交流から始まった①交流大会、同じく浦安市との②二市親善大会、③東葛親善大会（春季、秋季）、④五市親善大会などがあります。

県大会につながる日ハム杯市川予選は J:COM 旗として、6 年生主体の市川市内ブロック対抗戦は JA いちかわ後援として地元企業様、団体様の支援をいただいで開催しています。



JA 旗大会 優勝ブロックの記念写真

特色ある活動

市川市では大会以外の活動にも注力しています。

肘検診：2014 年よりシーズン前に肘の検診（エコー診断）を行い、ケガの早期発見、早期治療に努めています。



肘検診の様子

各種講習会：①審判部のすそ野を広げる意味もあり、準審判員制度を導入し、高野連の指導を受ける。②児童虐待を防止するための特別講演会の開催 等々

Web の活用、地元メディアへの情報提供

連盟 Web サイトを最大限に活用することによって、チーム関係者だけではなく一般市民に関心をもってもらう。メディアとのコミュニケーションを絶やさず、可能な限り取材を受け発信してもらう。

2022 年春「市川市の学童野球のメッカとなる」新妙典球場がオープンします。（人工芝、電光掲示板、夜間照明付き）また 2 年後には国府台球場も完成します。ますます野球熱が盛り上がることを願っています。

かずさ地域

かずさ地域は、袖ヶ浦市、木更津市、君津市、富津市の内房4市で作る君津地区少年野球連盟が基盤の地域です。簡単に4市の連盟を紹介させて戴きます。

袖ヶ浦市少年野球連盟

袖ヶ浦市少年野球連盟は昭和54年に発足し、今年で創立42年目を迎えました。

初代会長の鈴木慶司氏からスタートし、平成25年度より9代目の小峰末行氏の下で活動を展開してきましたが、令和3年度の山ゆり大会再開を誰よりも熱望した小峰氏が当年7月に急逝されました。謹んで哀悼の意を表します。

平成31年には創立40周年を迎え、市内外からの多くの招待者で盛大な式典が開催されました。



年間の主な活動

- 審判講習会
- 春季大会
- 春季友遊ボール大会
- 山ゆり大会
- 夏季大会
- 秋季大会
- 低学年大会
- 秋季友遊ボール大会
- 新人大会
- 山ゆり友遊ボール大会

木更津市少年野球連盟

少年野球場消滅

木更津市畑沢地区区画整理事業の一環として学校予定地が確保され、区画整理組合が野球場のバックネットを設置してくれました。その場所を畑沢地区の少年野球チームが維持・管理し日々の練習場所として使用していました。その球場は木更津市少年野球各大会の主会場としてだけでなく、木更津市長旗争奪少年野球大会など行政が主催する大会なども行われており少年野球のメッカとして、なくてはならない場所でした。近年、行政財産の有効利用とかで市内の学校予定地が民間に払い下げられました。練習場所・大会会場がなくなり苦慮しております。



現在新型コロナウイルス蔓延で多くのチームが学校のグラウンドを練習場所として使用できず活動場所の確保ができずに困っている状況です。

この10年活動場所の不足で連盟の活動衰退が顕著に表れ、スポーツ施設の充実を強く望んでいるところです。



かずさ地域

君津市少年野球連盟

この 10 年のあゆみ

昭和 63 年に連盟発足以来 32 年が経過し、登録チームは 10 年前 8 チームだったが、坂田ジュニア、中ファイターズが少子化などの影響からチーム編成が出来ずに休部となった。休部となるものの野球をしたい子供のために近隣のチームが選手として受け入れてくれた。

本年度後半の大会から休部となっていた中ファイターズの参加が決まり 7 チームとなる。

年間の活動（コロナ禍影響前）

- スポーツ少年団交流大会 ●友遊ボール大会
- 君津市少年野球大会（ロータリークラブ杯）
- 君津市親善少年野球大会（翔凜杯）
- 君津市低学年大会（平野スポーツ杯）
- 君津市長杯少年野球大会
- 君津市教育長杯新人戦大会
- 君津市連会長杯大会（マルミススポーツ杯）
- 日本製鉄小学生野球教室（かずさ M 選手）
- 審判講習会 ●グラウンド整備ボランティア



総合開会式を毎年 3 月に市内の全少年野球チームの選手・指導者・保護者、支援団体代表者が出席し開催している。式典の後、前半大会の抽選会、特別講演、チーム毎登壇し選手紹介（決意表明）など実施している。

市連出身のプロ野球選手による野球教室を毎年 12 月開催している。（指導：金子圭輔氏、真下貴之氏・大木貴将氏・山下幸輝氏）

富津市少年野球連盟

昭和 60 年（1985 年）に富津市少年野球連盟は、創立され最大 11 チームの登録での活動を展開してきた。しかし、時代の変化・環境の変化により、平成 6 年から次第に登録チーム数が減り、現在では 4 チームの登録で活動を行っている。活動状況の主たるものとしては、市内大会・かずさ地域大会・千葉県大会への参戦。他に、親子レク・プロ野球観戦等の行事に参加している。（※但し、昨今はコロナ禍という事で、活動自粛の行事もある。）

また、野球技術の指導だけではなく、社会活動への参加、他県・他市との交流、そして、地域の大人たちの温かい眼差しを持って、健全な身体・健全な精神を育むべく指導も行っている。

先にも記述したが、コロナ禍という今まで経験した事のない状況下で、制約・制限のある活動をしななければならないが、その中でいかに有意義な指導・活動、そして登録チームの増加を行っていけるかが、当市連の最大の課題である。



年間の活動

- 春季大会兼スポーツ少年団交流富津市大会
- 夏季大会兼市長杯大会兼警察署長杯大会
- 友遊ボール大会
- 日本製鉄旗争奪大会
- 低学年大会兼富津市建設業協同組合杯大会
- FTS 杯争奪大会兼東京新聞杯争奪大会
- 市内秋季大会（新人戦）兼教育長杯争奪大会
- 日本製鉄かずさマジック杯争奪選抜大会
- 富津市ロータリークラブ旗争奪大会

安房地域

この 10 年の歩み

安房地域は、館山市・鴨川市・南房総市・鋸南町の南房総エリア 3 市 1 町で作る、安房郡市少年野球連盟が基盤となる地域です。

安房郡市少年野球連盟は、館山地区・鴨川地区・朝夷地区・鋸南地区連盟からなる組織で 14 チームが所属している。

設立当初より千葉県少年野球連盟の役員を歴任していた、当地区の鈴木宗平会長より平成 28 年度より松坂誠一氏、平成 30 年度には現在の藤平正文氏へと会長職が受継がれ組織運営も役員主導型～全チーム参加形式へと変化をとげ現在に至っている。

当地区では、人口の減少に伴い選手の確保が非常に困難な状況に直面していて、登録チーム数が近い将来最盛期の半数を下回る可能性が高く、各チームとも選手の確保に苦労しているのが現状である。

対策としては、女子大会の参加に伴いチーム外活動の多様化により女子選手の勧誘強化の推進、友遊ボールの地域大会創設による、対象の子供たちの活動の経年化によりチームに帯同する期間を長期化することで、チームに加入しやすい環境を作るように努めるようにするなどといった取り組みを継続していくことを基本に、更なるアイデアを具現化していくつもりです。

直近の最大の成果としては、『第 19 回千葉県少年野球地域対抗 6 年生選抜大会』の優勝があります。単独チームの活動の限界もあり、選抜チームによる選手強化の取り組みを模索してきましたが、ついに優勝という最高の栄誉を勝ちとることができたこと、安房地区としても初優勝と二重の喜びに歓喜したのも記憶に新しいところです。



年間の活動

- 関東学童安房支部予選
- 全日本学童安房支部予選
- たてしん杯争奪安房郡市少年野球大会
- 日ハム杯大会安房支部予選
- ロッテ旗争奪低学年大会地区予選
- 友遊ボール千葉県大会支部予選
- 安房郡市少年野球大会
- 安房郡市新人少年野球大会
- I B A 旗争奪地区対抗 6 年生大会
- 安房地区会長杯争奪少年野球交流大会
- 地域対抗女子大会（春季・秋季）大会
- 地域対抗 6 年生選抜大会
- 安房地域秋季友遊ボール大会
- 安房郡市少年野球連盟審判講習会
- 安房郡市少年野球連盟納会
- 地区対抗指導者親善野球大会

特色ある活動

5 月のたてしん杯、9 月の安房郡市少年野球大会では、1 回戦敗者同士によるトーナメントを B リーグと称して実施している。大会参加チームが最低でも 3 試合以上試合ができるように考慮しているので、敗者復活戦のような扱いで参加者には喜んでもらっている。今後は、女子野球・友遊ボールの活動を強化していきたい。

九十九地域

山武郡市少年野球連盟

この10年の歩み

当連盟は東金市、山武市、大網白里市、芝山町、横芝光町の3市3町10チームで構成された活動となっています。

九十九地域は人口の減少に伴い少子化が進み、10年前に比べ子供が約30%減少となっています。それに伴いチーム数も年々減り、多かった時の27チームから10チームへと減少してしまいました。野球の魅力発信に向け、女子も含めた子供達の野球熱を高める更なる努力・活動が必要と思っています。

この様な厳しい現状ではありますが、昨年秋のドラフトで、横芝光町出身の「伊藤将司」選手が阪神に入団し1軍で大活躍中です、子供達が夢を持って目標となってくれればと思っています。

県連盟各種大会においては、千葉日報旗大会で2位1回、3位1回、ろうきん旗大会で3位1回、関東学童（春）大会で3位1回となかなか上位成績が残せませんでした。

2021年度はコロナウイルス感染症の影響で、少年野球選手権大会の開催が中止となった「特別大会」において、九十九地域の代表チームが見事に優勝を勝ち取りました。



年間の活動

- 全日本学童大会地区予選
- 関東学童大会地区予選
- 千葉日報旗大会地区予選
- 日ハム杯大会地区予選
- ロッテ旗大会地区予選
- ろうきん旗大会地区予選
- 新人戦（パラマウント旗）
- 友遊ボール大会地区予選
- 山武市長杯大会
- エアーフロント大会（高学年・低学年）
- 九十九シニア大会
- 審判講習会



特色ある活動

- ①成田空港が近隣に位置することから、芝山町が主管となるエアーフロント大会が開催されており、近隣地域から多数参加のもと低学年・高学年別に激しい争奪戦が毎年繰り上げられています。
- ②秋の新人戦ではパラマウント旗大会を開催し、近隣地域から多数参加のもと子供たちの交流と親睦を図っています。



九十九地域

南総少年野球国際交流連盟

この 10 年の歩み

九十九地域南総少年野球国際交流連盟は茂原市、一宮町、白子町、長生村、長南町、御宿町大多喜町、新たに令和 2 年勝浦ドリームズ(勝浦市)令和 3 年長柄ウイザーズ(長柄町)が当連盟に加入し 2 市 6 町 1 村の 13 チームで構成されています。

昨今登録チーム数の減少するなかチームが増える事は大変喜ばしい事です。

年間の活動

全日本学童大会地区予選(兼白子町長杯)

関東学童大会地区予選

(兼一宮町スポーツ協会会長旗)

スポーツ少年団県大会予選

南総少年野球大会

千葉日報杯大会地区予選

日ハム杯大会地区予選

ロッテ旗大会地区予選

ろうきん旗大会地区予選

ロッテ後援会大会地区予選

茂原市長杯 茂原リトルシニア大会

南総リーグ戦

審判講習会

納会(役員、チーム関係者)

特色ある活動

毎年南総大会を後援団体のご協力のもとに県内外より高学年約 50 チーム低学年約 20 チームに参加いただき 4 月に開催しております。可可能な限り棄権の無いようにチーム事情に対応しながら試合を進めています。

また当連盟ではリーグ戦(南総リーグ)を開催しています。

6 年生選抜大会は各チームより選手を推薦してもらいセレクションを行い 20 名を決定しています。山武市少年野球連盟との代表決定戦を行い勝ったチームが県大会に出場となります。

南総少年野球連盟選抜は過去優勝二回準優勝一回でしたが最近はあまり活躍出来ていません。子供たちの活躍を今後に期待したいところです。

2 月の審判講習会は吉清会長を筆頭に花澤審判長 連盟審判指導者講習受講者による実技指導、座学は模擬試験等を実施し審判技術 判定能力向上に努めています。



東葛地域

東葛少年野球連盟

東葛少年野球連盟は野田市少年野球連盟、流山少年野球連盟、松戸市少年軟式野球連盟が統括する機関です。JA 共済連千葉の協賛金や県連盟からの青少年地域育成振興事業費で運営。ただし不足した場合は3市に協議して運営。

年間の活動

- ・ 東葛選手権大会
(全日本学童・関東学童の代表決定戦)
- ・ ロッテ旗争奪東葛大会
- ・ 関東学童秋季大会代表決定戦
- ・ 地域対抗 6 年生選抜大会代表決定戦
- ・ 東葛地域肩肘検診
- ・ 東葛地域審判講習会

以前は日報旗・ろうきん旗大会以外の代表チームは3市の持ち回りで県への派遣チームを決めていましたが、地域内の強いチームを派遣しようと代表決定戦を行うことにした。

肩肘検診なども単独で行わず3市合同で受診。最近では他の市にも声をかけ、子供たちが楽しく永く、大好きな野球ができるように主幹市を中心に協議して運営しています。



松戸市少年軟式野球連盟

この 10 年のあゆみ

松戸市少年軟式野球連盟が 2015 年に創立 40 周年を迎えることが出来ました。創立 10 周年ころは 40 数チームあったチームも現在は 19 チームまで減少し選手数も 500 人を切っているが近年女子選手の増加も見受けられ活気づいている。

この 10 年の活動は県大会での活躍が目立っている。その中でも友遊ボールチャンピオン大会での連続優勝、6 年生選抜大会の準優勝など低学年から高学年まで県大会で上位に食い込むまでの力が付いてきている。

年間の活動

- ・ 所属チーム対象審判講習会
- ・ 春季大会 [本戦、ジュニア戦 (5 年生以下)]
- ・ 友遊ボール予選
- ・ 低学年大会予選
- ・ 秋季大会 [本戦、新人戦 (5 年生以下)]
- ・ 和田豊旗大会 (我孫子市共催)
- ・ 卒業記念大会



特色のある活動

大会会場の少ない松戸市では、グラウンドを手作りしています。17 年前には紙敷スポーツ広場を、昨年は千駄堀スポーツ広場を少年野球場化しました。芝生を剥ぎ取り、ピッチャーマウンドやベースの部分に土を入れ、暑い夏の日中、役員やチーム関係者で大会のできるようなグラウンドとすることができました。

大会中も雑草の草刈り、雨の日の砂入れ、当然ライン引きも、昼食代のワンコインを持参して、大会を運営しています。

東葛地域

野田市少年野球連盟

この 10 年のあゆみ

平成 24 年より、青木会長、堀江理事長の体制となる。平成 29 年に、南部ルーキーズが千葉日報旗、ろうきん旗大会にて、千葉県史上初の県大会連覇という快挙を成し遂げた。

平成 30 年には清水タイガースが全日本学童軟式野球大会全国大会に野田市として初めて出場した。一方、加盟チームの減少は著しく、令和 3 年度は 15 チームとなっている。また、令和 2 年度より堀江会長、田中理事長の理事長以下全員 50 代以下というフレッシュな体制で、ニューノーマル下での円滑な大会運営に取り組んでいる。



年間の活動

- ・ 春季少年野球市民大会
- ・ 東武鉄道野田沿線大会野田市予選
- ・ 雪印メグミルク杯争奪野田市少年野球低学年大会
- ・ 東京新聞旗争奪野田市少年野球大会
- ・ 秋季少年野球市民大会
- ・ 雪印メグミルク杯争奪野田市少年野球新人大会

特色ある活動

大会以外にも各種サポート事業を行っている。

- ・ 法政大学野球教室
- ・ 法政大学応援ツアー
- ・ 食事の力（保護者向け食育講座）
- ・ 正しいストレッチ講座（指導者向け教育）

このように、野田市少年野球連盟では子供ファーストの活動を行い、子供たちの健全育成に取り組んでいる。

流山市少年野球連盟

この 10 年のあゆみ

近年著しく人口増加が著しい流山市ですが、この 10 年のチーム数は 16 と変わらず、選手数は少しずつ増えている。

ここ数年、積極的な市への働きかけが実を結び野球場施設の充実が図られてきている。

また、推薦審判員制度を導入し、各チームからの大会サポートを充実させ円滑な運営を行っている。



年間の活動

- ・ 春季大会
- ・ 低学年大会
- ・ 秋季大会
- ・ 卒業記念大会
- ・ 新人戦大会
- ・ 友遊ボール大会

特色ある活動

流山市の姉妹都市である福島県相馬市ならびに長野県信濃町と交流を続けている。

また、市主催のロードレースのボランティア、クリーン作戦への参加や、青少年育成委員会の啓蒙活動に積極的に参加している。

柏地域

柏市少年野球連盟

この10年のあゆみ

柏市少年野球連盟は、1974年（昭和50年）秋に創立され、千葉県大会には昭和53年の第8回大会に初出場、平成19年には東葛地域から柏地域として独立したこともあり、県大会での上位入賞も増え、直近10年では全国大会出場3回、関東大会優勝1回など輝かしい成績を収めています。

一方、2011年（平成23年）に東日本大震災が発生し、原発の被災による放射能汚染のため、市内全域の公共施設で除染作業が実施され活動の拠点が長期間にわたり使用できませんでした。

この時、野田市少年野球連盟をはじめ多くの方のご厚意により活動を継続することができ感謝の念に堪えません。

また、2020年（令和2年）に発生した新型コロナウイルスの感染拡大により、大会中止や活動自粛など苦難の中、感染防止対策をとりながらの活動となりました。

このような中で、加盟チーム数の減少はわずかに抑えられましたが、1チーム当たりの選手数が減少するなど厳しい状況が続いています。

なお、2010年（平成22年）柏の葉公園野球場が開場し、翌平成23年からは開会式や定期大会を開催し好評をいただいています。

また、2018年（平成30年）には、千葉県少年野球連盟飯塚理事長に助言をいただき、被災地への支援活動及び地域の環境美化活動に対し、千葉県知事から「ライトブルー少年賞」を授与されました。



年間の活動

- 全日本学童・関東学童大会柏市予選
- オックスベストフィットネス旗争奪春季大会
- セナリオハウス旗争奪低学年春季大会
- 柏市長杯争奪夏季大会
- 柏警察署長旗争奪低学年夏季大会
- j:com 旗争奪関東学童秋季大会柏市予選
- 千葉ロッテマリーンズ柏後援会旗争奪秋季大会
- 低学年秋季大会
- 友遊ボール大会（春季・夏季・秋季）
- 東葛地区少年野球（春季・秋季）大会
- 東武鉄道杯野田線沿線大会
- 審判講習会（年3回）

特色ある活動

K B F (kashiwa baseball festival)

2013年（平成25年）に教育委員会と野球4団体が一体となって、小中学生の野球技術の向上、小中学生同士の親睦と少年野球の底辺拡大のためフェスティバルを開催しています。

普通救命講習会

少年野球の専用球場に「AED」を設置したことを機に、指導者・保護者を対象に市消防局の協力のもと講習会を開催しています。

野球教室

2017年から柏市と千葉ロッテマリーンズ柏後援会の共催による野球教室が開催されており、6年生が参加しています。

葛南地域

平成 18 年の柏市と沼南町の合併に伴い、葛南地域は 3 市 1 町の体制から、我孫子市、浦安市、鎌ヶ谷市による 3 市の構成となり、現在に至っています。

主な県大会への出場権は、各市代表チームによる予選会で争われ、葛南代表を決めていますが、これまで、地域対抗 6 年生選抜大会や関東学童県大会への出場は、輪番制としています。これは、各市との地理的な距離が 3 市合同の活動に影響を及ぼしているためですが、平成 26 年の女子野球チーム葛南フラワーズ結成を期に各市との連携を更に深め地域活性化に努めています。3 市合同での初めての試みとなった葛南フラワーズは、県大会でも準優勝の成績を収めることができ、今後は 6 年生選抜の合同チーム結成にも取り組む予定です。

葛南地域内の大会としましては、平成 13 年より、3 市から選抜された 10 チームが集まり年に一度、葛南少年野球大会を開催し、親睦を図っています。

また、近隣地域との交流を図るため、市川、船橋、葛南地域による五市親善大会や、東葛、市川、船橋、葛南地域 9 市による東葛親善少年野球大会（春季・秋季）が、各市持ち回りで毎年行われています。

年間の活動

- 葛南少年野球大会
- 全日本学童軟式野球大会葛南ブロック予選会
- 関東学童秋季大会葛南ブロック予選会
- 少年野球低学年大会ブロック予選会
- 葛南フラワーズの女子野球活動
- 五市親善野球大会
- 東葛親善少年野球大会（春季・秋季）

我孫子市少年野球連盟

この 10 年のあゆみ

当市は、我孫子市少年野球場、浅間、新木野球場など少年野球専用グラウンドを有し、これらを市内 12 チームの指導者、ご父兄の協力で管理しています。東日本大震災と令和元年の台風 15 号上陸時には大きな被害を被りましたがその都度補修を進め、活動を継続して参りました。また松戸市と当市共催で平成 28 年から始まった和田豊旗大会は令和 2 年に第 5 回大会を開催し、令和 3 年第 26 回我孫子近隣大会は、県内の他、東京都、茨城県からもご参加頂き、総勢 64 チームにて大会を開催しました。



年間の活動

- 春季大会
- 友遊ボール我孫子市予選
- 我孫子近隣親善大会
- 低学年大会（ロッセ旗我孫子市予選）
- 日ハム旗我孫子市予選
- 秋季大会
- 新人大会
- 学年リーグ決勝戦
- 和田豊旗大会
- 特色ある活動
 - *我孫子市少年球場整備（年 4 回）
 - *グラウンド開き（年始の無事故祈願）
 - *審判講習会（3 月）

葛南地域

浦安市少年野球連盟

この10年のあゆみ

今年度、浦安市少年野球連盟は創立33年を迎えます。平成30年には創立40周年記念式典および記念誌の発行を行いました。

この10年では、千葉県選手権大会、千葉県少年野球大会、全日本軟式学童県大会、低学年県大会、関東学童秋季県大会の各大会において浦安市代表チームは、優勝3回、準優勝5回の優秀な成績を収め、関東学童秋季大会では関東大会優勝の偉業も成し遂げました。

平成23年に発生した東日本大震災にて当市も大きな被害を受け、復興と共に歩んだ年月でもありました。被災当時、活動の場を失った子供達に、市川市行徳地区の皆様が連盟をあげて暖かい手を差し伸べて頂き、野球が出来る環境と喜びを提供して下さいたことは、感謝の念に堪えません。以降、行徳・浦安地区親善大会が毎年開催され、更なる親睦を図っています。

一方、この10年間で選手登録数が4割減の約340名、登録チーム数も1チーム減の13チームとなり、学童野球人口の激減に直面しているのが現状です。新型ウィルスコロナ禍の対応も踏まえ、活性化に向けて、野球を楽しむ環境作りに、今後も取り組んで参ります。

年間の活動

- 春季市民大会
- 日ハム旗新人戦予選会
- 読売旗争奪戦大会
- 秋季市民大会
- 二市親善少年野球大会（市川市・浦安市）
- 行徳・浦安地区親善大会

特色ある活動

- *審判講習会（3月）
- *浦安スポーツフェア協力（10月）
- *東京ベイ浦安シティマラソン協力（2月）

鎌ヶ谷市少年野球連盟

2012年に「鎌ヶ谷市少年野球連盟」として呼称を再び戻して、約10年となります。

その当時は、15登録チーム（19出場チーム）ありましたが、現在では10チームの登録数となっており、各チームぎりぎりの人数で活動をしている状況です。

このような現状を食い止めるべく、連盟では「選手の減少に歯止めをかけ、増加に転じる活動を行う」を連盟スローガンに掲げて、活動を行っています。

事業部主体となっていく「友遊ボール」は、小学生以下の児童にも参加をしてもらい野球の楽しさを幅広く広めていく活動をしています。

年間の活動

- 春季市民大会（鎌ヶ谷市登録チーム対抗）
- 夏季大会（1部：6年生地区対抗）
（2部：5年生以下、日ハム旗予選選出）
（3部：4年生以下、ロッテ旗選出）
- 秋季市民大会（鎌ヶ谷市登録チーム対抗）
- 鎌ヶ谷警察署長杯
（Aブロック：6年生卒業の部）
（Bブロック：5年生以下新人戦の部）
- 友遊ボール
- その他、他市連携大会

特色ある活動

- *鎌ヶ谷市新春マラソン大会役員派遣
- *鎌ヶ谷市審判部主催審判講習会
- *初級救急救命士講習会受講
- *鎌ヶ谷市民祭り出店
- *日本ハムファイターズ新入団花束贈呈式参加
- *日本ハムファイターズ始球式参加
- *日本ハムファイターズ野球教室

東総地域

東総地区少年野球連盟

この 10 年のあゆみ

東総地域は匝瑳市、旭市、銚子市の 3 市 17 チームで構成されています。

この 10 年で児童数の減少等で約 10 チームほど消滅してしまい県大会の枠数も減少してしまいました。

このような逆風の中、2012 年の千葉日報旗大会須賀スポーツ少年団（匝瑳市）が初優勝、東総地域として、のべ 8 回目の頂点に立ちました。



2017 年の 6 年生選抜大会において、4 試合全て 3 対 2 のスコアで 12 年ぶり 2 回目の栄冠を勝ち取る事ができました。



また、東総地域で活躍した選手が、NPB に旅立って行きました。

2012 年 相内 誠（琴田 SP－埼玉西武）

2016 年 榊原 翼（高神 SP－オリックス）

2017 年 伊藤 翔（千潮 SP－埼玉西武）

2018 年 鎌田 光津希（野栄 SP－千葉ロッテ）

2019 年 及川 雅貴（須賀 SP－阪神）

すでに引退した選手もありますが、現役選手にはさらなる活躍を期待したいところです。

東総地域

年間の活動

- 春期大会大樹杯争奪（全日本学童予選）
- 旭市長杯争奪夏期大会（千葉日報旗、関東学童予選）
- 新人戦夢まる旗争奪戦
（関東学童秋期 日ハム旗予選）
- 低学年大会 旭バッティングセンター JAPAN CUP 争奪戦（低学年大会 ロッテ旗予選）
- 木樽正明旗争奪秋期大会（ろうきん旗予選）
- ワールドハウス旗争奪東総ジュニアカップ
（30回の歴史を誇る5年生以下の大会）
- 地域対抗 6年生選抜大会セレクション
- 審判講習会
- 6年生オールスターゲーム（特徴ある活動を参考）



特色ある活動

東総6年生オールスターゲーム

監督、コーチ、審判から運営面をすべて6年生の保護者が中心となり、「東総地区内の選手の輪を広げる」「もう一度野球の基本をおさらいする」「勝負は行いが楽しい戦いをして楽しい思い出を残す」「選手だけでなく、保護者の親睦を深める」等を基本として、卒業間近の6年生を一同に集め2月に開催しています。

できるだけ多くの友人ができるように、所属チームの選手は別チームになるよう班編成を行っています。

通常のルールに縛られる事なく、選手の交代は自由に行い多くの選手が出られるように、工夫をこらしています。

父親だけでなく母親にもグラウンドに入ってもらい選手と一緒に参加してもらっています。

試合だけではなく、スピードガンコンテスト、ベーラン等も行っています。

この行事のメインイベントは野球の試合で最下位のチームの監督が白鳥（志村けんさんがきていた）姿になってベース一周を行う罰ゲームが待っています（中には好んで行う人も…）

第一回を行ってから15年にもなる風物詩です。



北総地域

北総地域は、佐倉市、成田市、香取郡市、水郷軟式の4連盟の42チームを会員に北総地区少年野球連盟を組織して活動しています。

主な活動は、全日本・関東両学童北総大会と北総地区少年野球大会の開催に加え、平成24年度から低学年を対象とした「成田ゆめ牧場カップ低学年少年野球大会」を創設し、今年で10回を迎えました。例年2月には審判講習会を開催し、審判員の技術向上を図っています。

当連盟として毎年6年生地域選抜、なでしこチャージング（女子大会）を結成し県大会に参加しています。なでしこチャージングは平成30年度県春季女子大会で準優勝、令和元年度県秋季大会では優勝と輝かしい成績を残しています。

以下、4連盟の活動概要を紹介します。

佐倉市少年野球連盟

佐倉市少年野球連盟は創設46年を迎えました。活動内容としては、2月に定期総会、審判講習会3月初めに関東学童予選の春季大会を開催し、以降、ここすも・ここいえ旗杯大会、友遊ボール大会、ミズノ杯大会、秋季大会（ろうきん旗杯予選）ライオンズ旗大会、長嶋茂雄旗争奪大会（小・中学）と12月まで7大会を開催しています。他に、北総地区少年野球連盟として全日本学童北総予選としての事業運営をしています。

加盟チームは、20チームで（選手500名）佐倉地区・臼井地区・志津地区の3地区になります。



特徴としては、各大会全て企業・団体様からの主催又は協賛を頂いて運営しており、主に春季大会は佐倉市主催・ライオンズ旗大会は佐倉ライオンズクラブ様、長嶋茂雄旗大会は創設以来（公社）佐倉青年会議所様との共催として開催しています。また、2月後半に独自の審判講習会を千葉県高校野球連盟の講師の指導を頂き、100

名規模で開催しています。毎年1年の締めくくりとして納会を開催して市長・議長・教育長・体協長・市会議員・県会議員・国会議員に出席を頂いて年間活動を報告し、少年野球普及活動に理解を頂いています。

近年は、佐倉市主催の長嶋茂雄少年野球教室やイースタンリーグ公式戦に全加盟チームの協力を頂いて開催しています。



成田市少年野球連盟

成田市少年野球連盟は創設45年を迎えました。

この10年の歩みは、成田ライオンズクラブ様を始めとする後援団体の皆様に支えられ、各大会を開催し、継続して市内外のチームとの交流を深めることができました。

また、令和2年10月には「JA全農WCBF少年野球教室」開催の機会を得て、王貞治WCBF理事長より直接バッティング指導をいただく等子ども達には大変貴重な経験となりました。

しかしながら、少年野球に加入する児童数は小学校の規模に比例して減少し、登録チーム数は19チームから14チームに減少するとともに、単独チームとして大会参加ができないチームも見られるようになりました。

連盟としては、少年野球を始めてくれるきっかけ作りとして、「ボールゲーム フェスタ」と銘打った行事を開催し、親子でボール遊びに触れる場を設け、少年野球のピーアルに取り組んでいます。また、「友遊ボール」についても市内企業の協力を得ることにより、新たな「大会」として企画することができました。

引き続き、少年野球の楽しさを少しでも広められるよう活動に努めてまいります。

北総地域

年間の主な活動

- 成田ライオンズクラブ旗杯（春・夏・秋）
- 空港周辺地域スポーツ大会（少年野球の部）
- 千葉ロッテマリーンズ成田後援会旗杯
- JA 成田市旗杯
- IACT 旗杯低学年大会
- ロッテ野球教室
- ボールゲーム フェスタ
- ナリコーカップ・友遊ボール大会

香取郡市少年野球連盟

香取郡市少年野球連盟は香取郡市(旧香取郡)の4チームで構成されています。

○多古町スポーツ少年団（香取郡多古町）

- ・少年野球チーム発足は50年前、7年前に4チームが合併し1チームへ、町内小学校3校で構成。

○神崎エンジェルス（香取郡神崎町）

- ・チーム創立26年、町内小学校2校及び近隣校で構成。

○山田マリーンズ（香取市）

- ・チーム創立28年、近隣小学校4校で構成。

○栗源ジュニアイーグルス（香取市）

- ・チーム創立23年、近隣小学校1校で構成。4チーム共に「地域密着型活動」であり、少年野球チーム専用グラウンドを市町より準備して頂いています。

また、地区主催の野球大会においても市町、ロータリークラブ等より協賛を頂いています。

当連盟は少年野球を通じ、心身の向上はもとより、礼儀、コミュニケーション、思いやり、忍耐、努力と「大人になるために身に付ける事」を指導しております。

水郷軟式少年野球協会

水郷軟式少年野球協会は、2003年（平成15年）特定非営利活動法人の認証を得て、香取市スポーツ少年団野球部に登録した香取市の少年野球チーム6チームによって構成しています。

少年少女の、スポーツを愛し、楽しみ、相互が協調・調和できる心と、総合的な運動による身体の健全な育成を図り、各チームの伸展に寄与すると共に、軟式野球の普及に努め、少年野球の活動を通して地域との連帯を図り、「スポーツ少年団主催行事への参加」・「地域活動への参加」・「対外交流試合等への参加」などの事業を推進しています。

年間の主な活動

- 全国スポーツ少年団軟式野球交流大会香取市予選大会

- 城之内邦雄杯少年野球大会

- 千葉県少年野球低学年大会香取市予選大会

- みらい市軟式野球交流大会香取市予選大会

- 読売新聞佐原杯少年野球大会

- 友遊ボール大会

- ベベサントカップ争奪大利根少年野球大会

- 水郷杯ジュニア野球大会

- 全日本学童・関東学童軟式野球大会香取市予選大会

- 水郷杯少年野球香取市・稲敷市交流大会

- 神奈川県大和市スポーツ少年団軟式野球交流大会に参加

特色ある活動

- 城之内邦雄杯少年野球大会は、元読売巨人軍 城之内邦雄氏にご後援を戴く大会で、千葉県茨城県内の少年少女の交流大会を行っています。

- ベベサントカップ争奪大利根少年野球大会は、元読売巨人軍（故）瀧 安治氏のご尽力により創め、ベースボールサントクロース協会にご後援を戴く大会で、千葉県・茨城県内の少年少女の交流大会を行っています。

印旛地域

印旛郡市少年野球連盟は、6 地区（白井、印西、四街道・酒々井、富里、八街、栄）で構成され、各地区主管のもと大会を行っている。

各地区少年野球連盟の活動を紹介します。

白井市少年野球連盟

この 10 年のあゆみ

白井市スポーツ少年団野球専門部と同等の活動をする組織として平成 16 年に白井市少年野球連盟が設立された。団員減少によるチーム減少の中、精力的に市内大会、近隣大会、郡大会などを開催している。

年間の活動

- 白井市スポーツ少年団交流大会（春、秋）
- 印旛郡市少年野球大会
- 大塚杯争奪戦少年野球大会
- 千葉ニュータウンリーグ低学年大会
- 市内新人戦、選手権大会 等

特色ある活動

- 6 年生親睦ナイター
- 6 年生学年末駅伝大会、卒団式
- 指導者・保護者向け熱中症対策講習会
- 白井梨マラソンへ役員派遣

印西市少年野球連盟

この 10 年のあゆみ

当連盟は昭和 52 年 3 チームでスタート、最多 12 チームを数えるも少子化で減少をたどり、平成 22 年の市村合併での 2 チーム増を経て現在 8 チームが所属。尚、友達ボール等の体験入部を開催し近年部員数は増加傾向である。

年間の活動

- 印西市少年野球大会（春、秋）
- 印西市少年野球大会新人戦（春、秋）
- 木下杯少年野球大会

- 印旛郡市少年野球大会参加及び第 2 回大会の運営を主管

特色ある活動

- スポーツ少年団主催のスポーツフェスタ等に積極的に参加、例年参加者の半数超を占める。
- 小学校校庭をホームとするチームは、学校の草刈りや美化活動に積極的に参加。



四街道市少年野球連盟

この 10 年のあゆみ

スポーツ少年団所属の市内 3 チームで構成し印旛郡市少年野球連盟を中心に活動。市内イベント、清掃活動、ガス灯ロードレース大会お手伝い、町内御祭りでの積極的な活動で健全且つ明るく元気な子供の育成に活動を継続。

年間の活動

- 印旛郡市少年野球大会
- 四街道・酒々井連盟各大会
- 京葉少年野球大会、佐倉リーグ
- スポーツ少年団交流大会
- 千葉ロッテマリーンズ四街道後援会旗大会等

特色ある活動

- スポーツ少年団を經由するガス灯ロードレースマラソンお手伝い&選手参加（自由）
- 市スポーツ de 健康大作戦（野球体験会）
- 四街道ふるさと祭りでの催し物

印旛地域

酒々井町少年野球連盟

町内2チームで構成し印旛郡市少年野球連盟に所属している。四街道地区・酒々井地区の単独活動から合同で四街道・酒々井連盟を組織し共同で情報を共有し地域に根差した健全な青少年の育成を目的に活動している。

年間の活動

- 印旛郡市少年野球連盟大会
- スポーツ少年団交流大会
- 酒々井町長杯少年野球大会
- 酒々井ライオンズクラブ杯少年野球大会
- 大谷杯低学年少年野球大会
- 関東団地少年野球連盟大会
- 佐倉リーグ少年野球大会

特色ある活動

- 酒々井町新春駅伝大会への参加
- 県連盟指導者講習・印旛連盟審判講習へ参加

富里市少年野球連盟

富里市スポーツ少年団野球専門部として、市の行事に参加しながら団員減少によるチーム数減少に皆で対策を考える10年であった。

年間の活動

- 春、秋の市内大会
- スポーツ少年団県大会予選会
- 千葉ロッテ後援会大会予選会
- 卒業生大会、指導者との交流 等

特色ある活動

富里市スポーツフェスタにおける野球教室の開催、元プロ選手との交流など

八街市少年野球連盟

八街市スポーツ少年団野球専門部に所属する団数が10年前と比べて2団体減少し、現在は4団体が登録。各団共団員数が減少している中、市内大会、近隣大会、

郡大会上位を目指して市営及び小学校グラウンドで活動している。

年間の活動

- 八街市長杯争奪少年野球大会
- 印旛郡市少年野球大会
- 八街杯少年野球大会
- 市内新人戦
- J A ちばみらい杯等

特色ある活動

八街市スポーツ少年団主催による

- 合同開会式、母集団交流大会
- バスハイキング、マラソン大会

栄町少年野球連盟

当連盟は1980年に3チームにて発足し2010年の市町村合併により、6チームから3チームへとなる。更に少子化による小学校統廃合で2015年から、1チームでの活動となっている。

年間の活動及び特色

- 町連盟審判講習会
- 千葉県地域対抗6年生選抜大会県予選会
- 栄町西市少年野球大会

当連盟発足を機に開催し42回になるが、親子2代で参加する選手も多数いる。

- ナイトゲーム体験会
- 町主催リバーサイドマラソン大会への選手および役員の派遣

